

# 藤岡第一小学校

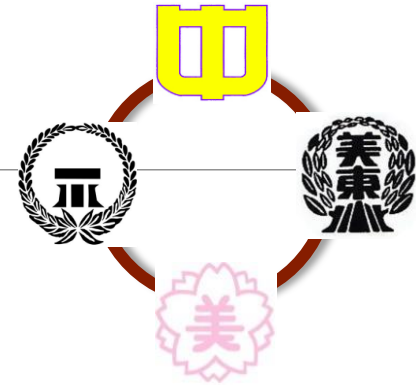


創立148年目を迎える  
歴史のある学校

在籍児童数 544名(21学級)

# 東連携型小中一貫校

- ・藤岡第一小学校
- ・美九里東小学校
- ・美九里西小学校
- ・東中学校



学校運営協議会

コミュニティ・スクール

地域

# 令和2・3年度研修主題

## 「自己肯定感を高め 他者を認めることのできる 児童の育成」

—授業づくりを中心に、生徒指導の3機能を生かした  
教育課程の充実を通して—



# 第一小の子のよさ

素直でお礼・あいさつができる。

話をきちんと聞いて行動できる。

時間が守れる。

目標に向かって努力を続ける忍耐力がある。粘り強くがんばる。

仕事をがんばる。

その場に応じて行動ができる（対応力）気が利く。（自分で気付いて行動）

友達に嫌なことをする子が少ない。（周りに流されない）

授業の中で自分の考えを伝えようとしている。

めあてまとめを自分の言葉で考えようとしている。

学習の積み重ねがあるのでのみこみが早い。



自己肯定感を高め、他者を認めることのできる児童の育成  
—授業づくりを中心に、生徒指導の3機能を生かした教育課程の充実を通して—

各教科・学校行事

自己決定

自己  
存在感

共感的な  
人間関係

生徒指導の3機能を  
いかした指導

東連携型  
小中一貫校  
9年間を通じた  
人権教育

学力向上部



人権教育充実部



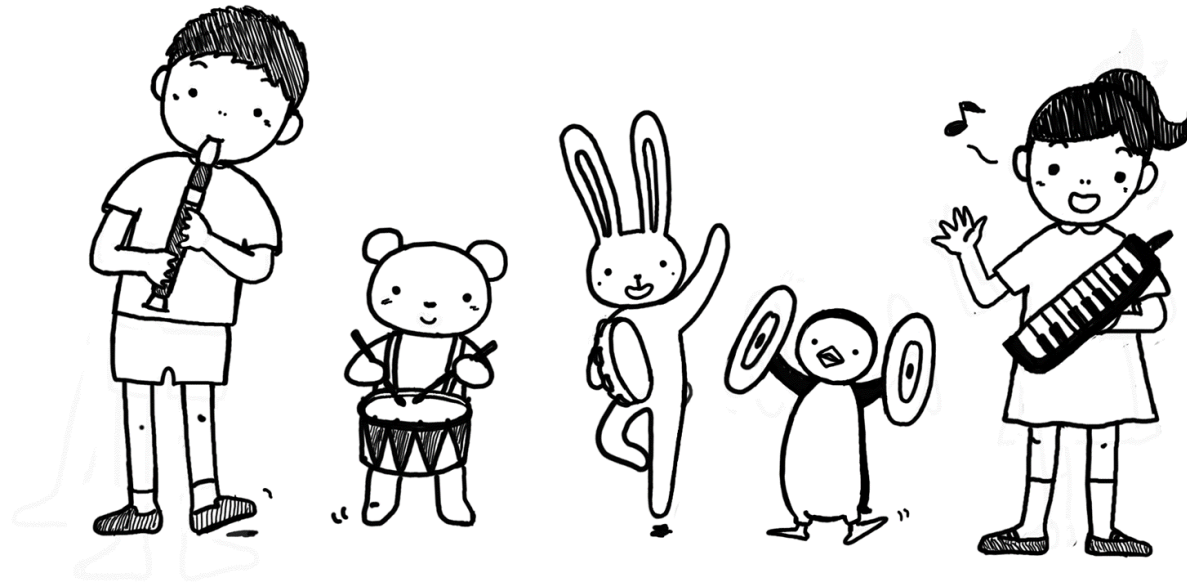
教育課程開発部



# 学力向上部の取組

だ い い ち

＊ な か ま ＊



# 授業スタンダード

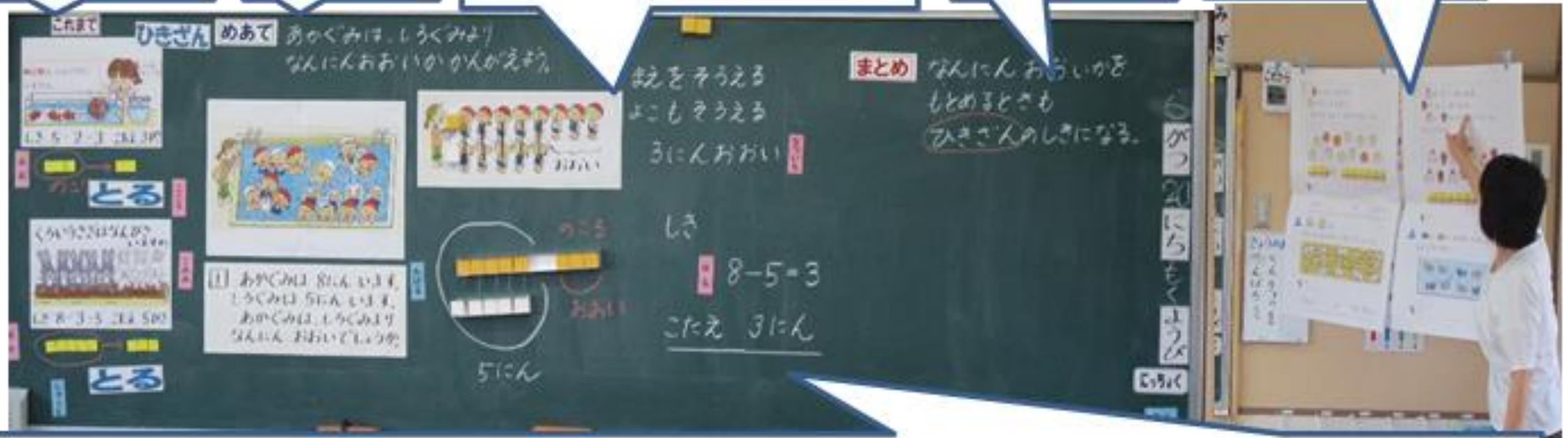
「これまで」  
前の時間では

「めあての  
確認」

「ここでは」個人の思考と学び合い  
自分の考えをもち、友達と学び合い、  
考えを深める

「まとめ・  
ふりかえり」

「このあとは」  
家庭学習・次時  
の学習へ



生徒指導の3機能を生かした意欲を高める指導 <校内研修学力向上部のテーマです>

自己決定 ねらいに関わる場面で自分で考えて決める

自己存在感 一人一人が認められ活躍できる

共感的な人間関係 互いに認め合い、共に努力する

☆つなぎ教材の活用

☆ネームプレートの活用

☆発問や支援の工夫





	自己決定について 課題に対する自分の考えをもつ	自己存在感について 自分の考えを表出して授業づくりに参画する	共感的な人間関係について 考えを表出する友達を認め、受け入れる
低学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネームプレートを使うことで児童が自主的に考えられた。</li> <li>・教科書の本文に線を引くことで発問をしっかりと考えられた。</li> <li>・ワークシートに写真を使ったり、毎回同じ形式を使ったりすることで課題に取り組めるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挙手</li> <li>・ハンドサイン 友達の意見に反応する習慣が身につく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の仕方、聞き方の統一をすることで、自信をもって発表できる。友達の意見をきちんと聞ける。</li> <li>・発表に関する教師の肯定的な声掛け</li> </ul>
中学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見をネームプレートをはることで視覚化できた。</li> <li>・個で考える時間をしっかり確保した。</li> <li>・挿絵や写真を掲示することで内容を全員が課題を理解し取り組めるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ意見の人に挙手させることで、発表していない子も自分の考えを発表できた。</li> <li>・普段からお互いを認め合う雰囲気のあるクラス経営。</li> <li>・実験では、1人ひとりが役割を与えられていて活躍できた。</li> <li>・児童の意見に対して肯定的な声掛けをすることで、自信をもって考えを表出できた。</li> <li>・班の意見は、みんなの意見を合わせてまとめた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表が終わった後に拍手をして相手を認める指</li> </ul>
高学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネームプレートを使うことで、意見に自信を持てた。</li> <li>・前時までのつなぎ教材を使うことで理由をつけて意見、考えを持つことができた。</li> <li>・必ず全員が選べる選択肢を用意した。</li> <li>・めあて まとめを自分の言葉で書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入で発言の機会を増やし、発言しやすい雰囲気をつくる。</li> <li>・同じ意見の人に挙手させる。ネームプレートの活用。</li> <li>・個人思考と全体交流の間にペアワークを設けることで必ず全員が自分の意見を伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ意見、考えの人で手を挙げる(ネームプレートを貼る)</li> <li>・拍手など発言に対して肯定的なレスポンス</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネームプレートを活用できる場面を増やした。</li> <li>・実験観察の予想や見通しも持たせた。</li> <li>・問題を解決する場面で自分の考えをまとめられるようにした。</li> <li>・個人やチームの課題に合った練習内容を考えて行う時間を設定した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験は役割分担を決めて、全員が参加できるようにした。</li> <li>・考えを発表できた生徒のネームプレートを黒板に貼った。</li> <li>・ゲー・チョキ・パー挙手により、発言の機会を意図的に用意した。</li> <li>・お手本としてみんなの前で演技する機会を設けた。</li> <li>・発言を互いに認め、共有し合う。</li> <li>・制作したものを一人ずつ発表する機会を設けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表前の原稿を互いに見合い、どうすればより良いものになるか考えたり良い表現を真似しあったりすることができた</li> <li>・発表活動のときに聞き手が拍手をして質問をすることで、相手を意識した発表をすることができた。</li> <li>・グループ学習の中で相互評価し良いところを認めあった。</li> <li>・個人の発言に対し、肯定的に反応するように教師自ら努力した。</li> <li>・生徒の発言を取り上げ、良い点等を全体で共有することで設定した。</li> </ul>

# ネームプレートの活用

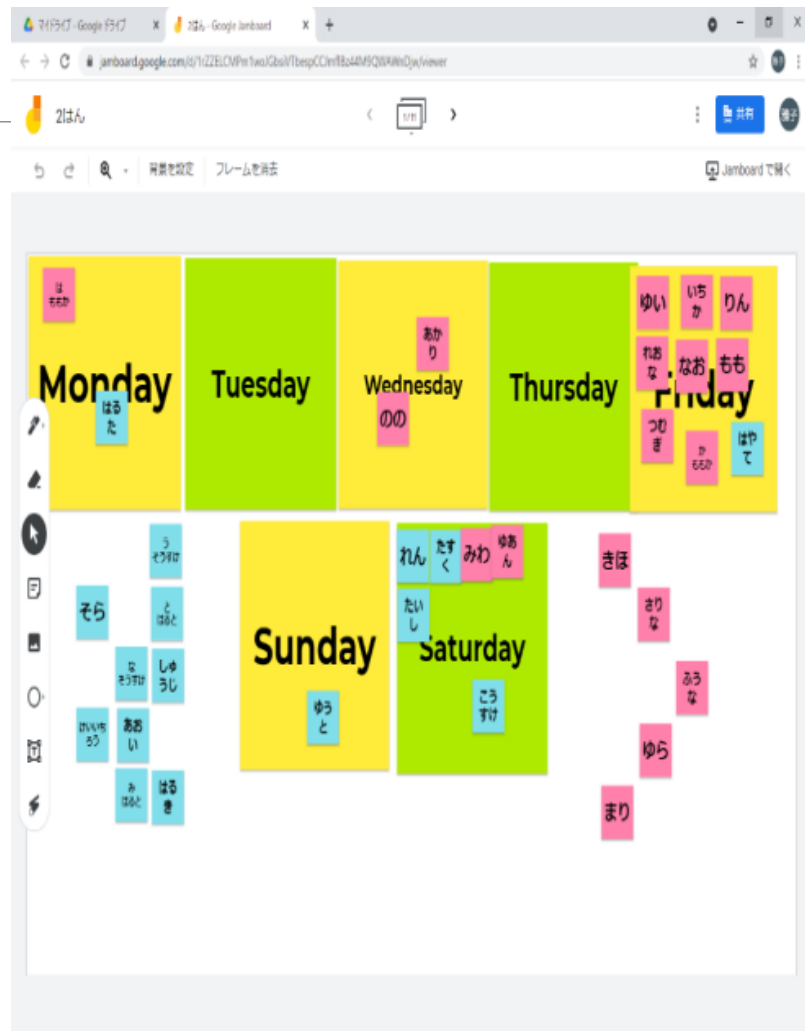




いいと  
おもいます!



# ハンドサイン



# 人権教育充実部の取組

だ い い ち  
\* な か ま \*



常時指導

直接的指導

間接的指導

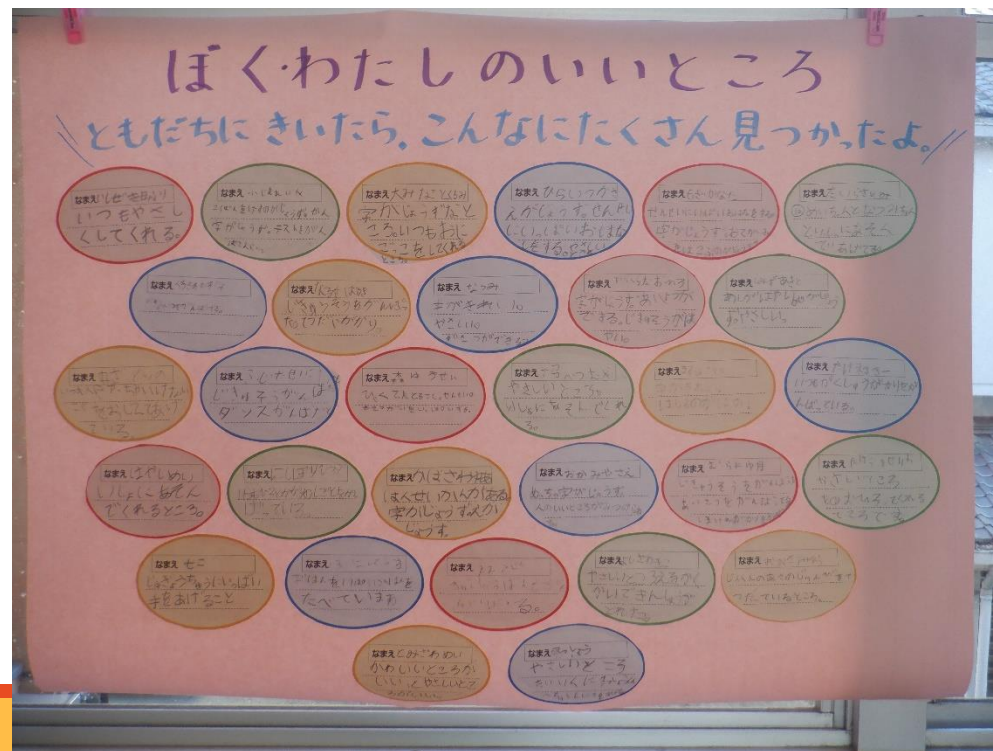
# 常時指導

東中校区いじめ防止スローガン  
な　なくそういじめ  
か　かわそうあいさつ  
ま　まなぼうみんなて

# なくそういいじめ

## 学級経営

## 教室環境

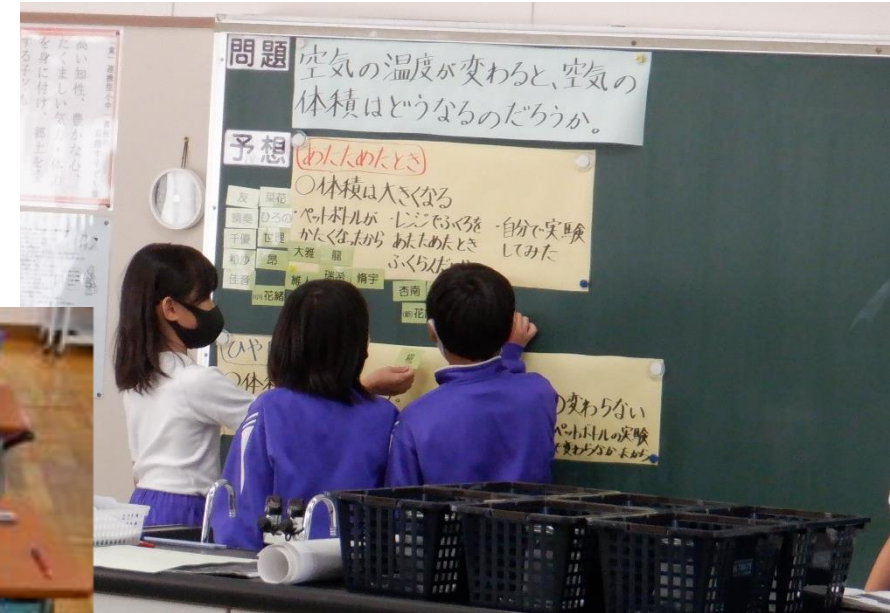




# かわそうあいさつ



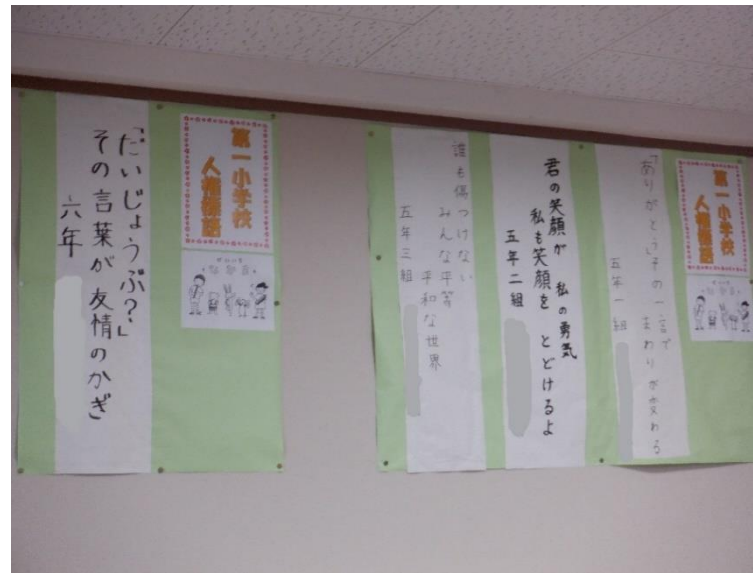
# まなぼうみんな



# 直接的指導

## 第Ⅱ期人権週間

10月



人けん ふりかえりカード

6年 組 番( )

1、1日をふりかえってみましょう。◎△

	4日 (月)	5日 (火)	6日 (水)	7日 (木)	8日 (金)	11日 (月)	12日 (火)	13日 (水)	14日 (木)	15日 (金)
友だちとながく できましたか。	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎
友だちのよいこ ろをみつけれま したか。	○	◎	○	○	◎	○	◎	◎	○	◎
あいさつを元気に できましたか。	○	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	◎

2、15日に人けん週間が終わっての感想を書きましょう。(感じたこと、がんばったこと、これからのことなど)

私は、この人権週間の期間の中でいろいろなことに気づきました。目標として私は自分とあまり関わりあわない人に対して勇気を出して、自然な感じに話しかけるという目標を実行したと、相手の人はこんな一面があった、や自分のことをこんな風に思っているんだ、と相手の人に対する新しい発見をすることができました。私は、自分から話しかけることにより、相手の心ももっとわかるということが特にこの人権週間の中で気がきました。また、人権週間の歌になっているあなたへのメッセージを音楽の時間のときに学習した、みんなの意見でこれからこのスローガンのようなやさしい心で友達と接したいという意見のように私はこれからやさしい心で友達と関わりたいと思いました。

# ハッピー ハートフルツリー



# あいさつ運動



# 委員会活動

# 間接的指導

## 音楽の活動



## 体育の活動



# P T A 社教委員会

3年1組 名前 \_\_\_\_\_

### ①取り組み方の例

**第一小親子 SDGs チャレンジ (ステップ1)** 夏休みの生活の中で目標を達成しよう!

取り組みたら はなまる

**(ステップ2)** 自分で目標を決めて実践しよう!

SDGs 17の目標番号

## だいいちしょうおやこ 第一小親子 SDGs チャレンジ

### (ステップ1) 夏休みの生活の中で目標を達成しよう!

ご飯を残さず、全部食べることができた。	ご飯を食べる前にきちんと手を洗った。	夏休みの宿題をしっかりと仕上げた。	いろいろな見聞だと仲良くできている。
水道を使った後、蛇口をしっかりと閉めた。	使っていない部屋の電気をマメに消した。	早起きすることができた。	読書を通して新たな発見をした。
ふわつと虫取りをおうちでも使っている。	読書場所を確保した。	文房具を大切に使っている。	買い物をエコバックを使った。
洗剤をムダに使わなかった。	学校で残っているペットボトルキャップを集めた。	お家のお手伝いをたくさんやって協力した。	すべてできたら はなまる!

### (ステップ2) 自分で目標を決めて実践しよう!

したこと 車をつかわずに歩いてかいのをした  9	したこと 朝、カーテンをあけた  7
したこと マイボトルをもって出かけた  13	3つすべてできたら はなまる!

### ②自分の感想

やってみて、できることが多くて、楽しくできることもあった。13と9はやっていて楽しかったから、つづきたい。

### ③おうちの人にコメントをもらおう!

簡単に出来ることも多く、このようにチャレンジ表にのっていると子供たちも進んでやってくれるのでとても良いと思います。出来ることは続けてやってもらいたいと思います。 だいいちしょうおやこ

# 地域の方々との関わり





# 児童主体の活動

## 東人権サミット



R 2 年度

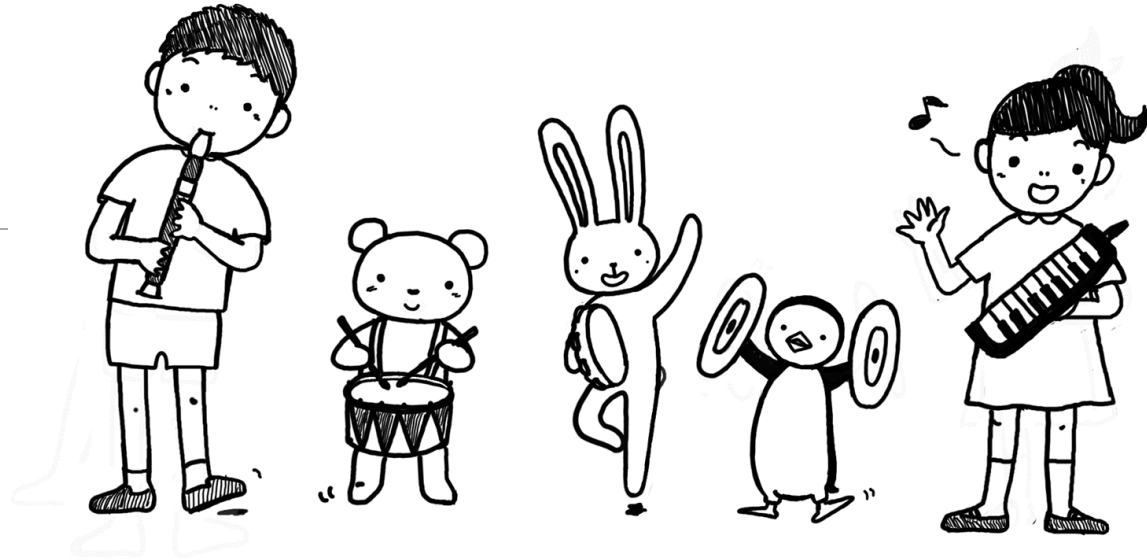


R 3 年度

# 教育課程開発部の取組

だ い い ち

＊ な か ま ＊





# みんなで生きる—福祉体験—



# 体育学習発表会

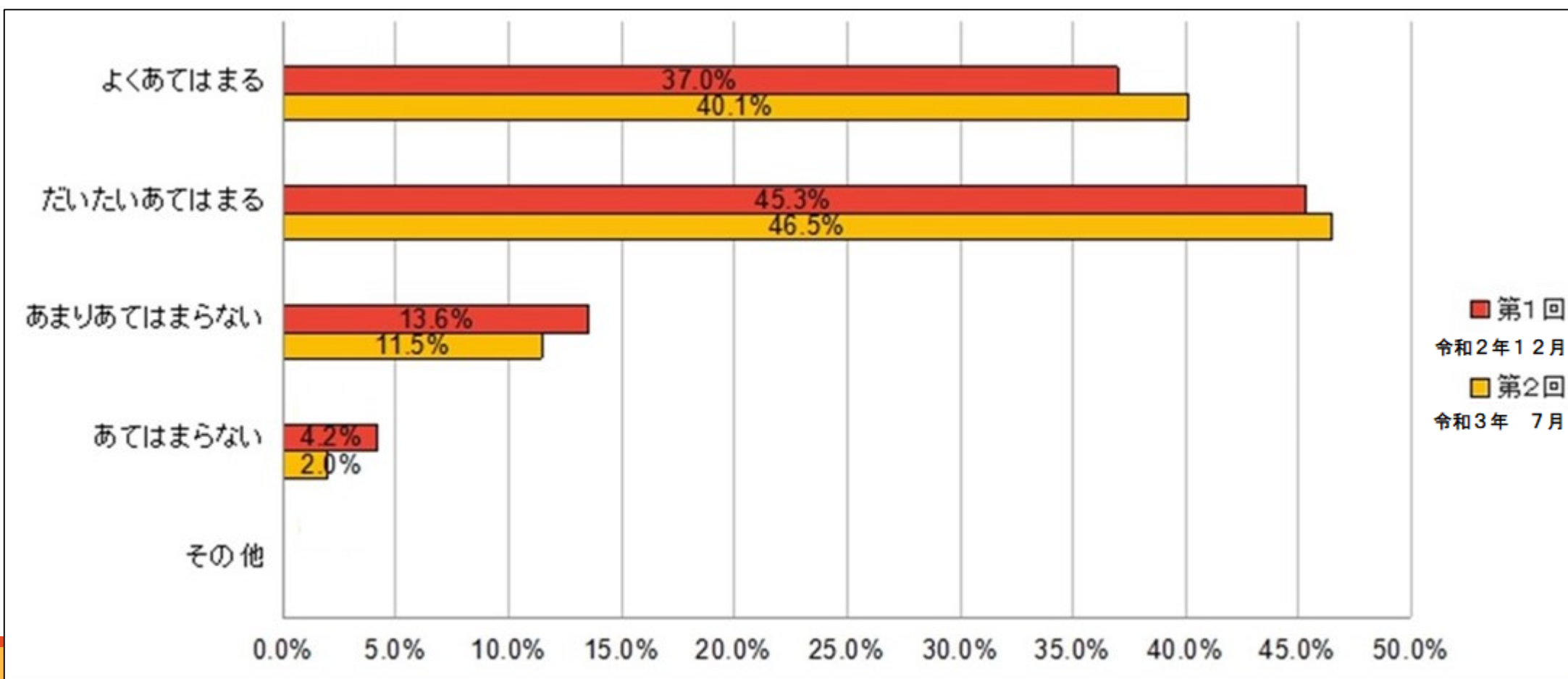


# 研究のまとめ

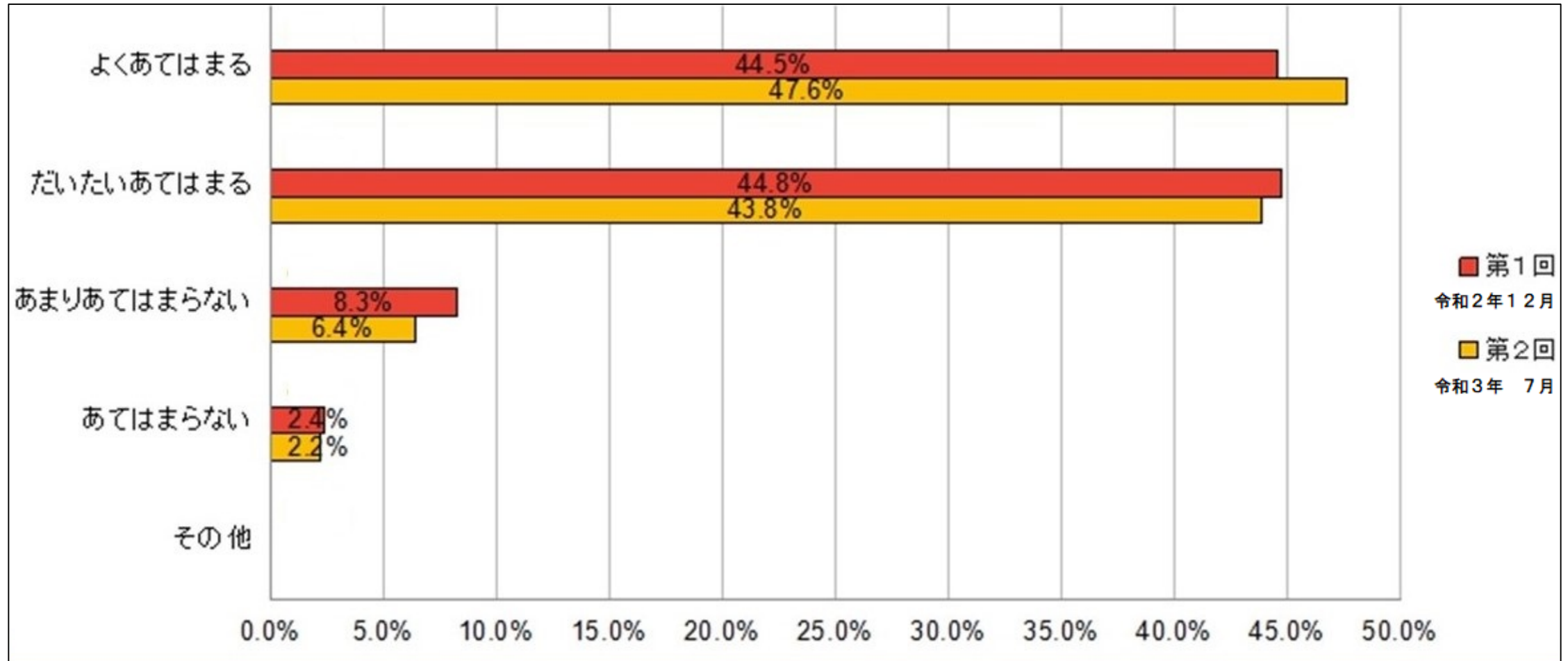
だいいち  
な か ま



自分の考えを友だちの考えをくらべ、自信をもったり自分の考えを変えたりすることがありますか



# あなたは、思いやりのある子ですか





# 研究を通して

---

- 教師と児童が一体となった人権教育の展開
- 生徒指導の3機能を生かした教育課程の充実
- 東連携型小中一貫校として9年間の人権教育について  
共通理解



ご清聴いただき、  
ありがとうございました。